



頭と心の栄養を

校長 星美登里

早いもので明日から、45日間の長い夏休みが始まります。4月から今まで、私は、南田中小の子供たちのよさにたくさん出会うことができました。そこで、子供たちを指導した教員全員に、4月当初と比べて子供たちができるようになったことを聞いてみました。回答の一部を紹介します。

1・2年生

- ・ひらがなが全部書けるようになった。
- ・字を丁寧に書けるようになった。
- ・足し算・引き算ができるようになった。
- ・友達の前で発表したり、静かにお話を聞いたりできるようになった。
- ・給食の準備や掃除ができるようになった。
- ・靴箱の靴がいつもきちんとそろえられるようになった。

3・4年生

- ・のこぎりや金づちの使い方に慣れてきて思った通りの形にできた。
- ・先生が言わなくても自分たちで並んで朝会・集会へ行けるようになった。
- ・授業開始時刻を守れるようになった。
- ・友達のよいところや頑張りを見つけて、伝えるようになった。
- ・休み時間みんな外に出て楽しく遊べた。
- ・給食の準備が速くなった。最速記録1分1秒。・給食はほぼ毎日完食。

みなみん学級

- ・「え～」と言わずにクラスの仕事をできるようになった。
- ・みんなの前での発表が楽しくできるようになった。
- ・鍵盤ハーモニカの音を出せるようになった。
- ・上履きの履き方が上手になった。
- ・大嫌いな牛乳が飲めるようになった。
- ・班長の報告が自分からできるようになった。

5・6年生

- ・古典文学の学習では、難しい昔の文を一生懸命暗記できた。
- ・自分の考えと友達のを比べて、その違いやよさについて話し合えた。
- ・自分たちが考えた音やリズムでグループや全員で音楽をつくり楽しめた。
- ・組体操で倒立が一発でできた。つらかったタワーもできた。
- ・イライラした時、自分で抑えられるようになった。
- ・自分たちで企画したり、考えて自主的に行動したりできた。
- ・1年生のお世話をできるようになった。
- ・委員会の仕事を、他の子の分まで進んでできるようになった。

成長の様子は一人ひとり違っていますが、教員の回答の傾向から「基本的な学校生活の定着⇒友達とのかかわりの広がり⇒子供たちによる自主的な活動の充実」という発達段階の流れが見えてきました。南田中の子供たちが健やかに成長しているのだと感じ、大変嬉しく思いました。

子供たちの健やかな成長には、体はもちろん頭と心に栄養を与え、感性を育てることが必要です。1つめの栄養は、様々な体験をすることです。海や山の自然に触れる、長い時間を掛けてじっくり作品を作る、いろいろな人とかかわるなどです。2つめは、様々なジャンルの本をたくさん読むことです。南田中図書館をぜひ利用しましょう。これからの長い夏休みは、これらにじっくり取り組む絶好の機会です。

充実した夏休みを過ごし、9月に笑顔いっぱいの元気な子供たちにお会いできるのを楽しみにしています。

6年生 武石移動教室に行きました

自然の中で、自分の責任を果たし、友達と助け合って「自分たちで自分たちの生活をつくる」ことができました。



←時折小雨の中、八島ヶ原湿原へ。これもまた趣がありました。

↓地域の方に教えていただいたうどん作り体験

